



京機会ニュース

No. 19 平成18年(2006年)秋号

クルージング in 浜名湖

～ 中部支部・夏の技術交流会 より ～



中部支部・夏の技術交流会が、7月16日浜名湖のヤマハマリーナにて開催されました。

以下は、中部支部からの交流会レポートです。

ヤマハマリン(株)様から、船外機の技術動向についてご講演いただいた後、3艘の高速ボートに試乗いたしました。時速90kmのスピードで湖面を疾走する爽快感、予想以上に静かな船外機と参加者一同、日頃得られない体験をすることができました。閉めは、レストランでの昼食会で、浜名湖を周遊しながらデッキでビールやワインを楽しみ、リラックスした雰囲気の中、試乗感の意見交換など会話も弾み、34名の参加者の皆さん、満足の1日となりました。

今回は、中部支部行事の様態をピックアップさせていただきましたが、各支部でも、通例の総会や講演会・見学はもちろん、趣の異なるさまざまなイベントも開催いただいております。

H18年上期では、関西支部「文楽鑑賞会」、関東支部・中国四国支部「ゴルフコンペ」、本部「テニスを楽しむ会」などの行事が既に開催されております。

また、九州支部では、来春に福岡県大宰府市の九州国立博物館にて、会員とご家族にも楽しんでいただける行事を計画中です。学生会も10月に学生対抗「第1回京機会杯フットサル大会」を開催いたします。

今後も、各支部、各分野で、会員またご家族一緒に楽しんでいただけるイベントも実施・計画いたしておりますので、ご所属の支部以外でも、支部の垣根を超えて、皆様、是非、各種行事・会合にご参加下さい。

全日本学生フォーミュラ大会結果速報

京大チーム 総合14位で完走。特別賞としてグッドフレームデザイン賞2位を獲得！

今回で第4回目となる全日本学生フォーミュラ大会が、9月13日～16日に静岡県袋井市の小笠山総合運動公園(エコパ)で開催されました。第2回大会から出場している京大チームは、昨年の成績(41校中12位)を上回るべく今回の大会に臨みました。結果は、大きなトラブルもなく無事完走できたものの、総合14位(50校中)という結果でした。ただし、3年間続けた独自のアルミフレームが審査員にもようやく評価され、グッドフレームデザイン賞2位を獲得できたことは、チームメンバーにとって大きな励みとなりました。結果こそ前回の順位を下回りましたが、3回の大会出場の経験を通してチームとしては確実にレベルアップしており、どうすればさらに上位を狙えるのかがはっきりと見えてきたように思います。

今回は、京機短信46号で京機会会員の皆様にも京大チームへの応援を呼びかけさせて頂きましたが、実際に中川副会長(S38)や西田様(S45)はじめ多くの会員の方々が大会会場まで応援に駆けつけて頂き、応援傘に思い思いのメッセージを書いて頂きました。お越し頂いた会員の皆様からは、「想像していたものよりはるかに本格的なマシンでの競技に感心した」などの感想を頂きました。皆様からの応援は、チームの学生達にとっても大変大きな励みになったことと思います。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

京大チームは、さっそく次回大会出場へ向けて活動を始めつつあるようです。引き続き、京都大学フォーミュラプロジェクト(KART)へのご支援とご協力をお願い申し上げます。(http://www.formula-kart.org/top.html)

大会の詳細内容は、9/20配信京機短信47号にてご報告させていただきます。京機短信のバックナンバーは京機会HP(URL:P.4参照)でご覧いただけます。



応援に駆けつけていただいた皆様と京大チームバドックにて



皆様には応援傘にメッセージを書いていただきました



独自のアルミフレームが評価されグッドフレームデザイン賞2位を受賞

会長メッセージ

<京機会活動の現状と限界>

平成18年度の京機会活動の成果としては、

1. 現役学生諸君を(同意を得て)京機会会員に迎え入れることが出来たこと。
 2. 長年の懸案であった財政赤字の解消が可能となったこと。
 3. 九州支部が発足できたこと。
- の3点を挙げるすることができます。

京機会の存在目的は会員の皆様にサービスを提供することでありますが、何のサービスをどの程度提供するのか…という点になると残念ながら現下の実力ではそれほど多くは望めません。にもかかわらず、サービスの対象枠を広げた第1項の決定は、財政面ではマイナスであっても京機会の存在意義を高める方向で良い効果が期待できると考えています。

圧倒的に多くの、大学を卒業した兄貴分の京機会会員が、現役学生を会員として迎え入れこの最も若い会員に出来る限りのサービスを提供するという意思表示をした上記第1項の決定は、今後の京機会活動の目的内容に大きな影響を及ぼすのみならず、将来の京機会の若手からの活性化につながるものとして、大きな意義を持ち、京機会の歴史に残る重要な意思決定であったと思います。

平成17年度の第2、第3の成果は京機会の存在目的である、会員へのサービスを提供する為に必要な手段であります。特に第2項の財政収入の面では、任意団体の同窓会組織では、会員からの会費と寄付以外の収入はまず不可能です。免税特典もなく大儀名分も無い任意団体への単純な寄付というのは企業では考えられません。

従って今後何らかの方法で事業的なものに手をつけられないかぎり、現状の財政規模を大きく伸ばすことは不可能だと思います。

<京機会の将来>

京機会は京都大学の機械系教室に共に学んだ人達を中心とした同窓会組織であり、その情報ネットワークの拡大を通じて会員相互の親睦を深めることを主たる目的としてやって参りました。しかし、何の組織でも同じですが、組織の存在意義である目的そのものの更なる進化とそれに伴うあらゆる会員層への更なるサービスの向上がなければ、組織の活性を維持することは出来ません。

こうした観点から観ると、上述の現役学生の会員化は京機会の会員サービスの対象が増え、京機会が更なる進化を遂げるきっかけになることが期待されます。今後は7500人の京機会会員の優秀な頭脳や貴重な体験、さらにはその行動力を生かして会員の中に存在する、例えばリタイヤ会員の労働意欲や学生会員に対する経営者教育等のニーズに対応していくためには、事業的活動に何らかの関与をしながら更なる財政規模拡大をベースとした組織人員の進化拡大が必要となります。

<運営委員会の常設>

平成17年度に特別委員会を設けて審議時間を大幅に増やし、重要課題の解決に取り組んだことによって成果が上がったことを踏まえ、平成18年度からはこれを常態化するために運営委員会を設置いたしました。上述の事業的活動を伴う進化の段階では大変複雑で難しい課題に直面する可能性が高いと思われませんが、このような運営委員会、又必要であれば専門委員会等で十分な審議をする必要があると判断したためです。

いずれにしても、現状の京機会活動の進化は本部、支部共まだまだ献身的な少数の会員に支えられています。今後は出来るだけ多くの会員の方々に働きかけて京機会の進化・活性化に繋げていきたいと思っておりますので、会員各位の温かいご協力をお願い申し上げます。

京機会会長 川口 東白(S34)



平成18年度 第3回運営委員会 (9月18日)

- 左から 松久、中川、熊澤、吉村、石山、久保、牧野、川口 — (敬称略)

平成18年度 春季大会総会の風景 —大会の様子は本文P4をご覧ください—



平成18年度京機会秋季大会・総会開催のご案内

本大会を下記により開催致しますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時：平成18年12月9日(土) 15:15～

会場：京都大学工学部物理系校舎 313室 他

行事：

1. 講演会 15:15～16:15

「きんと雲への挑戦(サステナブルモビリティの実現に向けて)」

瀧本 正民氏 (S43卒、トヨタ自動車(株) 副社長)



2. 講演会 16:20～17:20

「技術史としての鉄道」

河田 耕一氏 (S37卒、高知工科大学 客員教授)



3. 総会 17:20～17:50

(1) 運営報告と審議

(2) 学生会報告

(3) その他

4. 懇親会 18:00～20:00

会場：京大生協吉田食堂

会費：3,000円 学生1,000円(当日会場でお支払い下さい)

○ご自由な服装でお越しください。

○ご回答は、**11月30日(木)まで**に、同封のはがきでお寄せ下さい。

京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>) から、受付できます。

但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は「はがき」か「HP受付」のどちらか一方をお願いします。

○当日は、13:30より評議員会を開催いたします。評議員各位には、後日、ご案内をお送りいたします。

学生各位！ 京機会・京機学生会 学生と先輩との交流会のお知らせ

日時：平成18年12月9日(土) 11:45～ 会場：京都大学工学部物理系校舎

交流会とは？

“学生と先輩との交流会”では、京都大学機械系をご卒業され、現在、様々な分野でご活躍されている先輩方を多数お招きし、会社での仕事内容ややりがい、就職活動、大学生活などについて、直接先輩方からお話を聞くことができます。京機会という同窓会組織のネットワークを活用し、京都大学機械系のOBという視点から多くのことを助言していただけます。OBの方々と自分のキャリアプランを照らし合わせて、自身の将来について具体的に考えることができる絶好のチャンスです。ぜひご参加下さい！

もうすぐ会員名簿が発行されます！ 名簿掲載のデータ更新の最終締切は10月末日(必着)です

今年度は会員名簿発行の年にあたり、12月中旬の発行に向けて現在順調に最新名簿の編集作業が進んでおります。この会員名簿は、京機会会費を平成16年度～18年度分完納いただきました会員の皆様には無料で送付することとなっております。

なお、今回発行の名簿に掲載されます**各個人データの更新の最終締切は10月末日(必着)**となっております。会員の皆様におかれましては、今回同封いたしております名簿データの内容をご確認の上、変更がございました場合は10月末日迄(必着)に京機会事務局宛に、同封の返信はがきかE-mailにてご連絡下さい。更新締

切を過ぎますと、本年度発行の最新名簿にデータが反映できませんのでご注意ください。

京機会では3年ごとに会員名簿を発行しておりますが、個人情報や不正使用された被害が頻発する中、皆さんもご自身の個人情報に関しましては常に注意を向けておられることと存じます。このような情勢の中での名簿発行につきましても、細心の注意を払いながら編集作業を進めております。

京機会会員名簿については、専用ホームページも用意しておりますのでご覧ください。

(http://www.keikikai.jp/honbu/gyouji_meibo_frame.html)

平成18年度京機会春季大会・総会のご報告

平成18年5月19日(金)に、住友電気工業(株)のお世話により、平成18年度春季大会・総会が伊丹製作所・講堂において開催された。

総会では、開会の挨拶に続き、平成17年度の活動報告、決算報告・監査報告、支部報告、学生会報告、役員改選の報告があった。引き続き、会長の川口東白氏から新年度運営方針の挨拶があった。

続いて技術講演会となり、住友電気工業(株)鴻野雄一郎氏(S44)による住友電気工業(株)の事業概要についての講演、住友電気工業(株)村瀬亨氏(S51)による「自動車の安全技術の最新動向と住友電工の取り組み」と題した講演、住友電工ハードメタル(株)佐橋稔之氏(S59)による「切削加工の現状と将来」と題した講演が行われた。その後、伊丹製作所の超硬工具製造工場やブレーキ工場の工場見学が行われ、高速ドリル加工のデモや、高速カメラによる加工プロセスモニタリングのデモなども見学した。

夕方から場所をスワンホール移動して、懇親会があり、現地では有名なお酒をいただき、和やかに歓談した。旧交を温め合うとともに、各種の情報交換が盛況に行われた。

◆総会

- (1)平成17年度活動報告 (2)決算報告・監査報告
- (3)支部報告(4)学生会報告(5)役員改選
- (6)会長挨拶・新年度運営方針
- (7)フェロー選考内規と会則および関連内規の改正
- (8)平成18年度予算案 (9)その他

平成18年度本部役員は下記、平成17年度決算報告はP.5を参照下さい。

◆技術講演会

(1)「住友電気工業(株)の事業概要」

住友電気工業(株) 鴻野 雄一郎 氏 (S44)

住友電気工業(株)の事業精神や、現在の主要分野など、同社の事業の概要について紹介された。

(2)「自動車の安全技術の最新動向と住友電工の取り組み」

住友電気工業(株) 村瀬 亨 氏 (S51)

近年進歩が目覚ましい自動車の安全技術の開発動向が紹介された。衝突時のダメージを和らげるための衝突安全に関する技術、運転者の認知支援技術や操作支援技術といった、事故を未然に防止するための予防安全に関する技術は、自動車関連メーカーで活発に技術開発が進んでいる。住友電気工業(株)の取り組みも紹介された。今後の展開は官民の協調とメーカー間の強調がキーワードになると思われる。

(3)「切削加工の現状と将来」

住友電工ハードメタル(株) 佐橋 稔之 氏 (S59)

切削加工の高速化の現状と、工具の技術開発動向について紹介された。加工の高能率化とドライ化によるトータルコスト削減を目指し、切削加工の高速化を進められてきた。事例として、ダイヤモンド焼結体工具を用いたアルミ高速加工などが紹介された。今後は切削プロセスのモニタリング技術、シミュレーション技術などが重要な課題となると思われる。

総会・講演会・懇親会の模様は、P.2をご参照下さい。

平成18年度京機会役員(敬称略)

【会長】川口東白(S34)

【副会長】久保愛三*(S41)

中谷征司(S37、関西S)、平尾 隆*(S42、関東S)
瀧本正民(S43、中部S)、河田耕一(S37、中国四国S)
藤川卓爾(S42、九州S) ◎Sは支部長の略
中川 哲(S38、会長指名)、田中 翔*(H18、学生会)

【監事】池内 健*(S40)、森 雅彦(S60)、植木 努(H1)

【代表幹事】吉村允孝*(S43)

【常任幹事】

会長指名:熊澤正博*(S43)、松久 寛*(S45)

地区代表幹事:

(関西)住友幸和*(S61)、(関東)長田守弘*(S50)
(中部)光行恵司(S59)、(中国四国)藤井慎吾*(S54)

大学側幹事:

(関西)田畑 修*(S54)、(関東)吉田英生*(S53)

【常任幹事】

大学側幹事:

(中部)榎木哲夫*(S56)、(九州)井手亜里*(S52)
(中国四国支部担当)熊本博光*(S44)
(名簿担当)横小路泰義(S59)
(広報:ニュース)松原 厚*(S60)、
(広報:HP)西脇真二(S61)、(会計)石山拓二(S53)
(学生会)塩瀬隆之(H8)、土井謙太郎*(H13)

学生会:勝野友介*(H18)

第二世紀事業会代表:牧野俊郎*(S47)

【通信・情報担当】野中鉄也*(S55)

【運営委員会】

川口東白、吉村允孝、中川 哲、久保愛三、
熊澤正博、松久 寛、牧野俊郎、石山拓二

* は新任役員、評議員は、P.6をご参照下さい。

京機会からのお知らせ!

京機会のメールアドレスとHPのURLが、平成18年4月より下記に変更されております。
ブックマークの変更をお願いいたします。なお、旧HPは9月末日をもって閉鎖いたしました。

E-mail:jimukyoku@keikikai.jp http://www.keikikai.jp/

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻 TEL&FAX:075-753-5183

Ⅰ. 一般会計の部

1. 前年度繰越金(平成16年度会計より繰越) ¥8,581,809

2. 収入

摘要	金額	内訳
預金利息	4,827	
会費収入	6,468,000	
寄付金	538,000	
京機会名簿代	6,000	
秋季大会・交流会懇親会費	254,000	一般 69名*@3000 学生 94名*@500
学生と先輩の交流会参加費	4,600,000	92社*@50000 次年度納付1社
合計	¥11,870,827	

3. 支出

摘要	金額	内訳
会員通信費	1,086,680	評議員宛文書発送費等
印刷費	1,261,294	春季・秋季大会案内等印刷費等
備品消耗品費	105,327	文具等消耗品購入費等
人件費	2,095,027	常勤アルバイト代・保険代等
支部交付金	1,491,745	関西支部交付金他4支部
旅費	1,019,500	幹事会役員旅費等
会議費	367,196	幹事会経費等
大会経費	1,433,031	総会懇親会等経費等
学生会事業費	317,613	工場見学補助等
業務諸費(手数料関係)	149,315	郵便振替振込手数料等
雑費	38,221	
名簿積立金	355,000	
合計	¥9,719,949	

4. 次期繰越金(平成18年度会計へ繰越) ¥10,732,687

5. 名簿積立金(平成18年度会計へ繰越) ¥710,000

6. 基本金 (平成18年度会計へ繰越) ¥383,530

Ⅱ. 特別会計の部

1. 資産財産目録(平成16年度会計より) 18,666,243

2. 収支明細

摘要	収入	支出
利子・利息	2,138	
合計	2,138	0

Ⅲ. 第二世紀事業会京機会関連支出金(京機会への第二世紀記念事業会助成金報告)

摘要	金額	内訳
人件費	1,160,055	常勤アルバイト代
事業費	278,250	情報ネットワーク経費(Web使用料等)
合計	¥1,438,305	

会計関連のご報告とお願い

会計状況について

平成17年度は、特別委員会で検討された財政収支改善策の一部を実行するとともに、各位のご努力、ならびに第二世紀事業や21世紀COEによる実質的な補助もあって、単年度収支は黒字となりました。今後は、会の活性化につながる新たな企画を実施に移しながら、健全な財政を確立する必要があります。皆様方のいっそうのご協力をお願いいたします。

会費納入のお願い

平成18年度の会費 3,000 円の納入をお願い致します。同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。これまでの報告にありますように、京機会の運営は経済的に楽な状況にはありません。製造業・機械産業が日本を支え、その中心が京都大学機械系であるための努力を継続してゆくため、是非、会費納入にご協力ください。

寄付のお願い

ご承知の通り本会では寄付をお願いしております。前号以来、右記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成18年度ご寄付者 (H18.3.1~H18.9.26)

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1942 藤本 元様 | 1949 故田中 繁男様(奥様より) |
| 1951 巽 竹次様 | 1958 小澤 三敏様 |
| 1958 仁科 稔三様 | 1963 大路 清嗣様 |
| 1966 松本 和男様 | 1967 藤川 卓爾様 |
| 1968 杉山 謙吾様 | 1968 中西 清様 |
| 1973 高橋 義雄様 | 1992 片岡 哲児様 |

会費ならびに寄付ともに添付の振り込み用紙をご利用ください。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。会費納入の際には、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

本年度以前の会費が未納の場合には、ぜひ本年度分と併せて納入下さい。また、ご寄付をいただける場合や永年会員登録には、必ず金額等を所定欄にご記入いただきますようお願いいたします。

★永年会員登録のお勧め★

60歳以上の会員は、永年会費60,000円を納入することにより、その後の年会費はなく生涯京機会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し、既払込会費の返金はいたしません。)

平成18年度京機会評議員(敬称略)

*印:H18年度新任評議員

卒年	卒業年度代表 〔 〕以外は関西	地区担当				
		関西	関東	中部	中国・四国	九州
S20	谷口 浩					
S21	大矢根守哉	鬼頭 勇			坪井 正	
S22	岸本 雅夫	岸本 雅夫(兼)				
S23	岐美 格	尾谷 博敏	松井 宏雄			
S24						
S25	森川 龍一	森川 龍一(兼)	真部 広隆			
S26	吉川 和彌	村上 浩路	加藤 孝之			
S27	鈴木 正直	山本 巖	小林富美彌	濱島 辰雄		
S28旧	乾 宰人	乾 宰人(兼)	高橋 尚郎		寺谷 忠郎	
S28	西田 弘	宇多小路豊	西岡 良三		松田 安正	
S29	今井 昭*	良本 義信*	徳永 研一			三浦 精*
S30	安井 達	岡崎 義男*	佐藤 正敏	清水 孝	撰 親	
S31	橋本 昌	東 良学	戸田 凱夫	山本 新市	和中 宏樹	濱本 嘉輔*
S32	福森 康文	三輪 順計	木村 達也	赤松 利章		藤原 成種*
S33	野田 忠吉	中村 達	梅本 毅	岸本 秀弘*	藤田 宏	
S34	柴田 俊忍	木谷 彰宏	三浦登志男	大鹿 澄男	川口 東白	
S35	松木 健次	矢部 寛	太田 脩二	小西 博		大熊 隆吉
S36	四方 光夫	四方 光夫(兼)	鯉淵 興二*、山本 明	井上 恵太	佐藤 義政	
S37	伊藤俊太郎	吉岡 肇、中谷 征司*	小野 孝之、浅田 昭	毛戸 節男、大岩 忠明	阿部 武治	檜原 勇多賀*
S38	中川 哲(中部)	大西 邦彦	善本 毅	野呂 周平	高橋 正	
S39	垣野 義昭	澤田 邦昭、村田 哲也			藤田 茂文	浜本 浩志*
S40		濱野 清士、西宗 久昭	北川 正樹	奥田 雄三*	鷺尾 誠一	長渡 三郎*
S41	久保 愛三	古池 治孝	中垣 邦弘	松本 和男	石原 信勝	大宮 詔二*
S42	藤川 卓爾(九州)	堀家 弘	平尾 隆、有光 秀雄	加藤 由人	下津 正輝	藤川 卓爾*(兼)
S43	小島 達雄(中国)	林 完爾、大西 良弘	芳村 泰嗣、木内 誠司	瀧本 正民、中西 清	宇野 義幸、三原 豊*	田中 幸一郎*
S44	並木 宏徳	神田 剛、五味 千秋 鴻野雄一郎	二井内親兵衛	野口 満之		
S45	名張 隆司	各務 嘉郎	坂口 喜好	田附 尚	薦田 哲男	古川 豊秋*
S46	三津田恒夫	三津田恒夫(兼)	松宮 徹	鈴木 昌彦	山本 博孝	清水 明*
S47	秋山 雅義	成瀬 忠史	小澤 豊	太田 誠一	新川登茂宣	花城 順孝*
S48	佐々木美樹(関東)	成宮 明、安盛 善	増本 雄治	野口 好一	吉里 勉	和仁 正文*
S49	閑納 真一	日下部博昭、市場 良行 柏木健男	吉田 史郎		山崎 雅之	
S50	山西健一郎	盛林 茂夫	長田 守弘	下村 豊	溝淵 俊寛	
S51	杉江 俊治	深野 明	岩波 正、小松 富夫	棚橋 晴彦		中筋 和行
S52	中井 善一	尾上 正剛、小島 敬良		佐々木一衛	生田 耕治	山本 郁也*
S53	石山 拓二	北川 聡一、竹ノ内壮太郎	川口 靖夫	木村 忠司		小田 祐司
S54	坂口 保彦	坂口 保彦(兼)	浜下 浩一	伴 鋼造	山下 道雄	江夏 裕*
S55	小寺 秀俊	奥田 寛、姫田 篤	松浦 清、宮地 豊	敷田 卓祐		角 知則*
S56	樫木 哲夫	岡村 将光、谷垣 哲也	羽田 英夫、石山 和文		竹内 芳裕	百田 陽一*
S57	上井圭一郎					橘高 節生*
S58	永瀬 豊	池内 清晃、西村 高明 疋田 理		三木 隆彦*	林 知得	
S59	横小路泰義	長岡 壯壽、有川 泰史	田中 正樹			
S60	新井 聡(関東)	洲崎 章弘、鈴木 洋	村上 弘記			
S61	蓮尾 昌裕	栗村 隆之、二股 一郎	粉川 良平	大塚 康司	後藤 知伸	
S62	川上 浩司	篠原健治郎	小川兼一郎	小関 智史	佐々木 克明	
S63	玉川 雅章	加賀 邦彦	久保木 孝	近藤 好正	村田 健史	玉川 雅章*(兼)
H 1	石谷 善博(関東)	柴田 豊、望月 正人	鳴海 一雅、栗栖 正充		平田 直人	西 真*
H 2	水山 元	畑 善裕、三輪 雅彦	内山 雅史			角倉 潔*
H 3	若林 英信		能勢 幸嗣	佐藤 利勝		中山 興一*
H 4	岩前 敦	福谷 和久、西田 大		久保 崇、佐分利誠司	堀内 匡	林 秀之*
H 5	岩井 裕	雪本 徹				廣門 泰樹
H 6	田中 和人			阿部健一郎		
H 7	小森 雅晴	梅野 宜崇、井尾 賢司	古賀 響	泉 祐志、上坂 裕之	大西 徹史	貞松 誠二*
H 8	泉井 一浩	塩瀬 隆之、平澤 拓	笹田 義幸			金星 隆之*
H 9	佐野 智一	平山 朋子	杉原 了一			
H10	鶴飼 宗紀	古株 慎一		山内 崇史		
H11	佐藤 紘一					長友 志朗*
H12	小田 豊					辛島 広祐*
H13	土井謙太郎					大石 和義*
H14	金田 靖弘	金田 靖弘(兼)				
H15	吉富 聡*	小川 博之*	吉富 聡(兼)	園田 素康*		
H16	中安 祐貴*	大庭 尚樹*	亀岡 啓典*	阪本 俊夫*		

事務局といたしましては、上記評議員を中心に全会員のご協力をいただきながら各卒業年度同窓会との連携を密にしていきたいと考えております



関西支部の活動

関西支部では、多くの会を催しています。それぞれ特徴があり、異業種交流会では工場見学とその企業の技術の講演がセットになっています。産学懇話会は京大で京大の教員による研究紹介や企業の方の講演です。京機サロンでは、企業での管理や経営に役に立つ講演をしています。また、京機九日会と京機京都の会では年配の方が楽しく語りあいます。

すべて、懇親会がついており、和気藹々と楽しく食事をし、酒を酌み交わしています。そこで、旧知を温め、新しい人的ネットワークの形成を計っています。多くの方が気楽に参加できれば幸いです。

平成18年上期活動報告

異業種交流会

第21回:平成18年3月22日 三菱重工業(株)神戸造船所
見学:ディーゼルエンジンおよび原子炉内構造物組立

「炉内構造物取り替え工事概要」中野利郎 (S53)
「原子力機器輸出の取り組みについて」
日下部隆也 (S45)

「最近のロボット産業について」磯部 達 (H16)

第22回:平成18年8月11日 サントリー(株)京都ビール工場 (学生会と共催)

見学:ビール製造工程とプレミアムモルツ試飲会
「改質再利用による水原単位改善計画」寺本賢二
「エネルギー回収利用シンクロナイズと負荷フラット化」

尾迫佑樹 (H17)

MOT研究会(京機サロン)

第21回:平成18年4月21日

「シニア海外ボランティアに参加して」坂戸瑞根 (S32)

第22回:平成18年6月23日

「イギリスの技術教育と技術者」秋山雅義 (S47)

第23回特別企画「文楽鑑賞会」:平成18年8月5日



京機九日会

4月10日「車の現状と将来」小西正巳 (S35)

6月9日「鉄道写真の話」平沢義也 (S35)

8月9日「パズルを楽しむ」矢部 寛 (S35)

京機・京都の会

7月1日「東西文化の交流 - 日本における問題点」
菊井 薫 (S29)

9月2日「エンジンとコンピュータにつきあって40年」
西脇一宇 (S38)

関西支部今後の活動予定のご案内

(詳細は、別途WEBおよびメールでご案内します。)

平成19年度支部総会・新年会

日時:平成19年1月12日(金) 17:30~20:00

会場:ホテルグランヴィア大阪

産学懇話会

第24回:平成18年11月11日(土) 13:30~
会場:京大、新機械棟 216室

MOT研究会(京機サロン)

第24回:平成18年10月27日(金)

会場:ホテルグランヴィア大阪19F アブ

第25回:平成18年12月1日(金)

会場:エスカイヤクラブ駅前第3ビル店 予定

第26回:平成19年2月16日(金)

会場:ガーデンシティクラブ大阪 予定

京機九日会

日時:10月10日(火)、2月9日(金) 11:00~14:00

会場:大阪梅田/中央電気クラブ

京機・京都の会

開催日時:11月4日(土) 11:00~13:30

会場:京都/ウェスティン都ホテル

(九日会と京都の会は登録会員向けのみメール案内しています。新会員大歓迎、詳細は事務局へお問い合わせ下さい。)



三菱重工(株)神戸造船所
見学を終えて

サントリー(株)京都ビール
工場の見学後の試飲会での
和気藹々とした懇談

第23回:平成18年10月6日(金)

会場:ダイハツ工業(株)池田工場

「不老不死の自動車触媒~スーパーインテリジェント触媒~」
田中裕久

「軽自動車用 新型KFエンジンの紹介」河野直久
(第23回交流会の様子は次号でご紹介予定です。)

産学懇話会

第22回:平成18年4月15日

「企業の研究、大学の教育」宇津野秀夫 (S55)

「島津製作所の産学連携と研究開発」川辺泰嗣 (S40)

第23回:平成18年7月8日

「京大キャンパスネットワークの沿革、現状と問題点」

野中鉄也 (S55)

「Global Technology Outlook 2006」

武田浩一 (IBM東京基礎研究所)



第7回関東支部総会・新年会のご案内

日時：平成19年1月28日(日) 13:30～
会場：学士会館

詳細は後日ご案内しますので、皆様の多くのご参加をお願いします。
総会終了後、新年会を開催する予定です。

第5回異業種交流会の報告

恒例の異業種交流会も今回で5回目となり、下記のとおり当番企業を新日本製鐵(株)が務め、環境関連施設をテーマとして開催しました。

- ・日時：平成18年7月14日(金) 14:00～
- ・場所：新日本製鐵(株) 君津・富津地区
- ・参加人数：33名
- ・視察先：君津広域域廃棄物処理施設(かずさクリーンシステム) 廃プラスチック化学原料化施設(君津製鉄所) 研究施設紹介および懇親会(富津研究所)



関東支部ゴルフコンペの報告

異業種交流会の後、関東支部メンバー有志が集い鹿野山にある白溪山荘に泊まり込み、夜遅くまで語り明かしました。翌日ゴルフコンペを開催し、炎天下でのプレーでしたが、二宮前支部長が実力を発揮され、グロス90、ネット73.2の好スコアで優勝されました。

- ・日時：平成18年7月15日(土) 8:49～
- ・場所：ザ・鹿野山カントリークラブ
- ・参加人数：8名



京都大学21世紀COE社会連携セミナー & 関東支部SOEの報告とお知らせ

第13回社会連携セミナーは6月30日(金)、第14回社会連携セミナーは、9月15日(金)に学士会館で開催され、終了後立食形式で、講師を交えての関東支部懇親会(SOE)を催し意見交換を行いました。

第15回は、11月24日(金)13:30～、学士会館で開催いたします。詳細は別途WEB及びメールでご案内します。

中部支部からのお知らせとご報告

中部支部は、今年度から、より多くの若手会員にも参加いただけるよう、支部総会の運営を変更し、中部支部の新人会員歓迎会を行うことと、従来、秋のみに行っておりました技術交流会をもっとフランクな形で夏にも行うことに取り組んできました。

支部総会報告

支部総会は、名古屋の中心街の栄で行おうということになり、平成18年4月22日に東邦ガス栄ガスビルにて開催いたしました。当日は、京機会会長川口様(S34)、関西支部長中谷様(S37)、今年度より中部支部担当になっていただいた京都大学榎木教授(S56)、学生フォーミュラーの代表者の高木さんにも参加頂き、総勢91名(懇親会93名)と5年前の中部支部発足会以来の多くの参加者で盛況な会となりました。特別講演としては、日本ガイシ(株)尾藤様(H2、京大・工化修了)から「電力貯蔵用ナトリウム-硫黄電池の開発と実用化」、また、京都大学の小森助教授(H7)から「最近の若者の視点からみた学生・大学・機械工学」といった大変興味深いご講演をいただきました。懇親会では、15

名の新人会員を招待し歓迎会を行いました。新人の抱負の披露と中川様(S38)からの激励の言葉で幕を開け、楽しい歓談の会となりました。

秋の技術交流会&学生見学会

9月21日産業技術記念館で秋の技術交流会&学生見学会を行いました。産業技術記念館では、動態保存されている木製人力織機、G型自動織機などの実演を見学し、学生とともに先人のモノづくりへの真摯な取り組み、チャレンジ精神を実感することができました。

その後、「自動車の電子システムの動向」と題し、鎌居健一郎氏(S53 デンソー常務役員)にご講演いただきました。講演会終了後、安城荘デンソー会館に移動し、学生との合同懇親会を行い、参加69名(うち学生30名)と大いににぎわいました。学生の皆さんと、日本の製造業のモノづくりへのこだわりや、将来を担う機械工学学生への期待など意見を交わし、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今後も、楽しい中部支部にしていきたいと思いますので、ぜひ皆様も積極的な参加をお願いいたします。





平成18年度活動予定

1) 若手、ミドルの地区別交流会

本年度も、岡山、広島、四国地区にて、若手・ミドルの交流会を開催いたします。時期は10月頃を予定しております。この地区別交流会では総会とは異なりカジュアルな雰囲気様々な話題を自由に話せる会で会員間の交流を一層深める事が出来ます。

若手・ミドルのみならず多くのご参加を期待いたしております。

尚、岡山地区では役員連絡会も同時開催予定です。

2) 支部総会

日時：未定です。(平成19年初めを予定しています)

会場：広島市にて開催予定です。

平成17年度異業種交流会について

平成18年2月4日JFEスチール(株)西日本製鉄所福山地区にて理事会及び支部総会を開催いたしました。

(支部総会については前報告済み)



当日、異業種交流会と製鉄所見学及び懇親会を同時開催しました。参加者は37名でした。

異業種交流会では、「最近の製鉄技術と製品開発に関して」をテーマとして

1)「熱間圧延における世界の技術動向と三菱日立製鉄機械の挑戦」黒田彰夫氏 三菱日立製鉄機械(株)

2)「自動車用ハイテン鋼板の現状」

平林哲氏 JFEスチール(株)

と題して興味深い講演をしていただきました。

引き続きJFEスチール西日本製鉄所福山地区の熱間圧延工場、冷間圧延工場、表面処理工場の見学を行い、更に福山ニューキャッスルホテルにて懇親を深めました。

翌日は有志にて、毎年男子プロツアーも開催されているJFE瀬戸内海ゴルフ倶楽部にてゴルフを楽しみながら更なる交流を深める事が出来ました。



九州支部からののお知らせとご報告

平成18年度の京機会九州支部は、大学代表の副支部長が、支部の前身である「九州の会」生みの親の松久寛先生(S45)から、井手亜里先生(S52、電子工学)に、また、当番企業が三菱重工業(株)から新日本製鐵(株)に交代いたしました。

本年の支部行事は下記のとおり開催いたします。

申し込み方法

京機会ホームページに登録するか、下記の幹事宛にメールにてお申し込み願います。第一部、第二部のみのご参加も歓迎いたしますが、その旨明記願います。

幹事：新日本製鐵(株)八幡製鐵所 山本 郁也(S52)

京機会九州支部 平成18年度行事案内

日時：平成18年10月21日(土) 場所：北九州市

第一部：見学会 11:00~12:30

「新日本製鐵(株)八幡製鐵所(高炉・熱延他)」

〒804-8501 北九州市戸畑区飛幡町1-1

TEL：093-872-6111(代表)

第二部：支部総会・懇親会 13:00~15:30

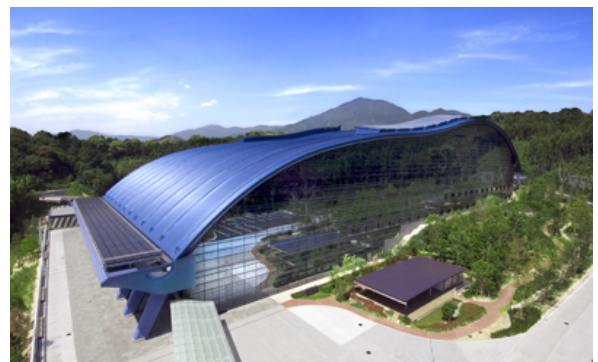
「千草ホテル」

〒805-0061 北九州市八幡東区西本町1-1-1

TEL：093-671-1131 懇親会費：¥8,000.-

<次回行事予定>

なお、来年は春にも行事を予定しております。井手先生がハイテクを駆使した文化財保存の仕事をしてられる福岡県大宰府の九州国立博物館にて、奥様方や子供さん達にも楽しんでいただける行事を開催いたします。



九州国立博物館(同館ホームページより)

支部長 藤川 卓爾

見学会ご参加の方は、JR小倉駅北口にバスを配車しますので、それにご乗車下さい。バスの待機時間は10:00~10:30で、10:30に出発します。直接見学会に来られる方は、八幡製鐵所総合センターにおいて下さい。(JR戸畑駅よりタクシーで5分程度です)

総会・懇親会のみご参加の方は、直接会場において下さい。(JR八幡駅よりタクシーで5分程度です)

会場案内図は京機会ホームページをご覧ください。

若手による研究・教育の紹介 (1)

乱流による強い拡散や混合の起源を探る

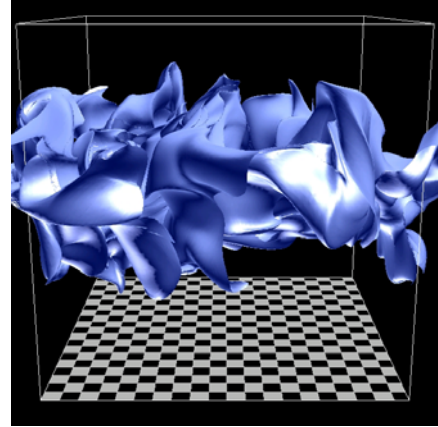
下の写真は先日出席させていただいた友人の結婚披露宴のときに出席者が放った風船の様子です。風船は大気の乱れた流れ(乱流)に運ばれて、あっという間に遠くに飛んでいってしまいました。厳密には風船は空気の分子の熱運動の影響も受けます。水に浮かべた花粉のような小さい粒子であればこの効果は無視できずブラウン運動として観察されます。しかし、大気の流れによる影響の方が風船の未来を決めるためにはずっと重要です。この例からも分かるように、流体の運動は物質の輸送や拡散に絶大な威力を発揮します。とくに、乱流による拡散は、ヘリウム風船の未来を予測するという基礎的な問題(テラーの拡散問題とよばれています)だけでなく、たとえば事故を起こしたタンカーから流れ出た汚染物質が海洋中をどのように拡散していくか、などの問題でも重要となります。



また、カップに添えられたコーヒースプーンも乱流のはたらきと無縁ではありません。コーヒーにミルクを入れたとき、じっと黙っていても分子の熱運動の効果によりいずれミルクはコーヒーと混ざります。温かいコーヒーの場合には対流のおかげで意外と速く混ざりますが、スプーンでかき混ぜてコーヒーの乱流をつくった方が格段に速く混ざります。このように乱流には物質を効率よく混合するというはたらきもあります。もちろん乱流混合はコーヒーの問題に限らず、たとえば燃焼機関内でいかに効率よく燃料と酸素を混合するか、などの問題でも重要となります。自動車用エンジン内でも渦の誘起により燃焼効率を高める工夫がされていることはみなさんよくご存じの通りかと思えます。

以上のように乱流による拡散や混合は、身のまわりに現れるさまざまな流れや工業システムで重要な役割を演じています。しかも上の例でみたように、一般に乱流による拡散や混合は分子の熱運動によるものと比べてずっと強力です。したがって多くのシステムにおいて、われわれは乱流による拡散や混合の予測や制御を目指していますが、実はどのようにして乱流が強い混合や拡散を生み出すのかはよく分かっていません。よく分からないままに精度のよい予測や効率のよい制御をおこなうことは難しいものです。そこでわれわれは乱流混合や拡散の数値シミュレーションにより、強い乱流混合や拡散の起源を模索してきました。以下では混合のシミュレーションについて簡単に紹介します。

我々のシミュレーションは次の素朴な方法によります。乱流による混合は分子運動によるものと比べてずっと強力でしたから後者の効果は完全に無視し、乱流による混合の効果のみに着目します。この仮定よりたとえばコーヒーとミルクの問題であればこれら二つの流体の境界面(下図の青い面)の運動を追跡することによりそれらの混合の様子を捉えることができます。



上の図によれば境界面は乱流中で激しく伸長された折り畳まれていることが分かります。実際、その全面積は時間の指数関数で急激に拡大します。しかし興味深いことに境界面が占める体積は比較的ゆっくりとしか(正確には時間の代数関数でしか)増大しません。このことは、大きな接触面が小さい空間領域に閉じ込められ、この面の表と裏にある流体が交互に幾重にも重なったミルフィーユのような構造をつくることを意味します。たとえば、うどん粉を混ぜるときに職人さんは引き伸ばしと折り畳みを繰り返します。これをパイコネとよびますが、乱流中ではこのパイコネが自然に行われていることとなります。パイコネによって二つの物質によるミルフィーユ構造ができあがれば、(上のシミュレーションでは無視した)分子拡散が威力を発揮し二つの物質はさらに急速に混ざるのです。

以上の結果から、乱流による強い混合の起源は、乱流による効率のよいパイコネにあるとわれわれは考えました。そして、われわれのシミュレーションによれば、乱流中には大小さまざまな大きさの渦が共存するためにさまざまなスケールでのパイコネが同時進行でおこり、また各スケールにおける渦同士は互いに反対方向に回転する対をなす傾向にあるために、渦と渦との間で強いパイコネがおこる、ということが分かりました。この二点が効率のよいパイコネの起源であると考えられますが、普段台所で使うハンドミキサーを例にとって考えると理解しやすいかもしれません。ハンドミキサーでは羽根の集団の回転で大きな渦を生成するとともに、それぞれの羽根が小さな渦を生み出しています。また、二つの回転軸は互いに反対に回って逆回転する渦対をつくっています。つまり、乱流とハンドミキサーとはいずれも強い混合を生み出すという点でよく似た構造を有しているのです。



後藤 晋(流体物理学分野)

H16. 6. 16熱流体工学講座伝熱工学分野助手。
専門は流体力学、特に乱流及び乱流混合の理論・シミュレーション研究。

井田敦巳 氏の略歴：小森研出身。2000年修士卒。同年トヨタ自動車(株)に入社。入社以来燃料電池関連の開発に従事。2005年より Toyota Motor Manufacturing North Americaに出向中。



社会人になって6年。これまでを振り返り、仕事で大学の経験がどのように役に立っているか、自分の反省もふまえて記したいと思う。多少でも学生の皆さんの参考になれば、幸いである。

私は、学生時代に流体研(小森研)で反応乱流について実験的に現象を捕らえシミュレーションモデルを構築するという研究をしていた。2000年に修士課程を卒業後、トヨタ自動車(株)に就職し、燃料電池関係の仕事に携わっている。

学生時代に得た知識が、現在の仕事で生かされている事は、非常に多い。

まず、実験により培った経験が、現在、流れの感覚を掴んだり、データ解析をしたりする上で、自分の基礎になっていることである。また、自家製コードでシミュレーションをしていたことも、商用ソルバーの応用的な使用に役立っている。

さらに、改質器(炭化水素燃料から水素を作る装置)の開発の際には、効率よく反応させるためにガスの混入をどのようにすべきか様々な検討を行ったが、流体に関する専門知識が役に立った。また、燃料電池本体については、例えば触媒にどうやってガスを輸送するのか、できた水をどのように排出するのかといった現象は、多孔質体流れと混相流の現象が複雑にからみあっており、現象を理解するには流体的な理論が必要となる。この部分は未解明な現象も多いため、今後も研究を続けていく必要があるだろう。

江嶋恒行 氏の略歴：大谷研出身。

1994年学部卒、1996年修士卒、1999年博士号取得後、同年に松下電器産業株式会社へ入社。以来、CAEを用いて半導体や光学部品等、デバイスの開発に従事。



私が入社したのは7年前でした。すぐに21世紀に入りIT技術が急速に発展し、物事がめまぐるしく変化する世の中となりました。そういう時期に入社したことと、生来ののんびりした性格のためか、とにかくスピードと的確さを同時に要求される会社での仕事についていくのはかなり苦労しました。今でもまだまだ発展途上ですが、それでも最近は少しはましな技術者になりつつあるかなと自負しております。人に偉そうなことを言える立場ではありませんが、これまでの会社生活における自身の体験、足りない点を基に、学生の皆様に、社会人になるまでに是非これは身につけてほしいと思うことを3点挙げます。

- ①学生の間の一つでいいから、自分のやりたいこと・なりたい姿を見つける
- ②視野を広く持つ
- ③人脈を広げる

経験が活かされたことがあった一方で、もっと学生時代に勉強しておけば良かったと反省することもある。

例えば、図面や基礎的な計算などが、あまり身につけていなかった事である。社会に出ると、機械出身者は、図面が読めて当然という雰囲気があるが、実際のところ3回生の頃に実習しただけなので、公差なども良くわからず、入社当時は非常に苦労した。また、配管の圧損や材料の曲げの計算など、うろ覚えで、すぐに計算できない事もあった。

そのような時は、学生時代に購入した教科書を読み返し、再び勉強している。これらの教科書は、入社してから非常に役に立っている。学生の皆さんには、教科書は手放さずにとっておくことを勧めたい。

このように、私は製造業に携わる者として、学生時代に学習したことの重要性や流体工学の必要性を再認識している。私が学生の頃は、ただ漠然と実験をこなす日々で、自分の研究と社会の結びつきを考えることは少なかった。しかし、学生時代から、自分の研究がどのようなモノに使われるか、最終的にモノにするにはどのようなことが必要なのかといった視点で研究すると、得られるところは多いはずである。私は現在米国に赴任している関係で米国の大学に触れる機会があるが、こちらでは企業や政府機関との共同研究が盛んで、学生が給料をもらってプロジェクトに参加しており、こういった傾向が強いように感じられる。適度な共同研究は学生の研究動機を刺激する上で良い効果をもたらすと思う。

最後になったが、学生の皆さんには、多少の失敗を恐れず、色々なことにチャレンジしてほしいと思う。また、私自身にも言えることだが、卒業をゴールとせず社会に出てからも努力を惜しまないでほしい。

私の周りを見渡してみても、自分のなりたい姿をはっきりと持っている人ほど仕事に対する取り組み方もより真剣で、会社の中でも生き活きとしているように見えます。目標が明確になっていると、困難が発生した場合でもそれを乗り越えようとする強い意志もできます。

多くの人は何かの問題に直面した場合、思考が偏ったり、ある一つの考えに陥りがちではないでしょうか。視野を広く持っていると思わぬ所から問題解決の糸口が見つかったり、あるいは違った発見ができることもあります。会社の中では(大学等でもそうだと思いますが)ときに自分があまりやりたくない仕事、苦手とする仕事を任されることもあります。そういうときでも広い視野をもって「この仕事をする事で自分にプラスになることはないか」などと前向きにとらえることができれば取り組み方も変わってきますし、やらされ感を持ったままダラダラとするのと比べて結果も変わってくるでしょう。

当然のことですが人間は一人では生きていけません。そして、自分の能力や見識を高めるためには、一人でも多くの人と交流を持つことが大事です。困ったときには力にもなってくれます。身近な所から始め

て、ぜひ色々な場所へ積極的に足を運んで交流を図ることを実践してみてください。そして人の話に耳を傾けて下さい。全ての人の意見に素直に従う必要はありません。人によって考えも違いますし、これはいいと思うことを自分のものにしていけばいいのです。仕事を円滑に進めるためにも人間関係は大切です。私は学生時代や会社生活を通して多くのすばらしい方々に出会いました。これは最も貴重な宝物であると思っています。

ここに挙げた3つのことは研究者・技術者としてのス

キルアップには欠かせません。実際、私の身の回りにおけるいわゆる「仕事ができる人」を見てもこれらのことをしっかりとできている人ばかりです。さらには普段の生活を豊かにするためにも重要であることはいうまでもありません。しかし、人から教わって簡単に身につくものではなく、普段から意識して行動することが大事です。社会に出る前に少しでも心がけるようにしておくことより楽しい人生を送ることができるでしょう。皆さんが立派な社会人となり多方面で活躍されることを期待しております。

京機会ニュース記事投稿についてのお願い

ご覧いただきやすい紙面を目指し編集改革を進めております。皆様のご意見を是非、事務局迄お聞かせ下さい。

会員のページの原稿字数は、**250字以内**でお願いいたします。紙面の都合により事務局にて文章省略させていただきますことがあります。ご了承下さい。なお、お送りいただいた写真は返却いたしません。画像ファイルも可能です。次号(2007春号 No. 20)の締切は、**12月末日**です。

編集担当：松原 厚、小森雅晴、平方寛之、伊藤靖仁、段 智子

学生会SMILEからのお知らせとご報告

平成18年度下期の活動

9月は、二つの工場見学を実施いたしました。①9月21～22日：中部地方への工場見学で、京機会中部支部の協力により森精機、産業技術記念館、デンソー、三菱自動車に訪問させていただきました。②9月28～29日：中小企業の工場見学で、昨年度と同様に京都府下の中小企業を訪問させていただきました。

以降は、10月後半にキャリア企画と題しまして、「自身の将来について考えるきっかけ作り」を目的としたものを催します。また京機会とSMILEの名を学生に広めるため、フットサル大会を開催します。

11月にはKARTとの共同企画である「自動車フォーラム」や、研究者への道を紹介する企画、さらには関東工場見学と、去年よりも多くの企画を実施する予定です。

これら多くの企画を通して、まずは学生に京機会とSMILEの活動の魅力を伝え、さらに学生が自身のキャリアについて深く考えた末に、12月の「学生と先輩との交流会」を迎えたいと考えております。去年よりも多くの学生に参加してもらえよう頑張ります。

学生と先輩との交流会について

「学生と先輩との交流会」とは京都大学機械系を卒業され、現在様々な分野で活躍されているOBの方々に母校に来ていただき、学生と“直接”会って話をしたり、学生の質問に答えたりしていただいています。昨年はこの交流会に、90社以上、約170名に及ぶ先輩方と約150名の機械系在学生が参加しました。

今年は12月9日(土)に京都大学物理系校舎で開催されます。「学生と先輩との交流会」は京機会総会と同日開催であり、交流会・京機会総会全体での懇親会が予定されています。懇親会では先輩と学生がさらに密に話せる場を提供できたらと考えております。

学生会では交流会を学生・企業双方により有益なものにするために様々な企画を検討しています。先輩方も今の学生がどんなことを考えているのかを知る貴重な機会かと思えますので、積極的に学生と話していただくと光栄です。

今年も交流会への御協力を宜しくお願い致します。

平成18年度上期実施企画報告

■修士課程をどうすごしますか？(講演会)

・日時：平成18年4月17日

・講演者：松久寛教授(京都大学)

修士2回生3名(海外インターンシップ経験者・SMILE会長・KART運営委員)

・参加学生：約20名(主に3回生、修士1回生)

・内容：学生に目標を持って修士課程をすごしてもらうため、意欲的に活動されてきた先輩に具体的に何を修士1回生でしたのかを聞き、松久教授に講評をいただきました。

■インターンシップ説明会

・日時：平成18年6月5日

・講演者：インターンシップ経験学生5名

・参加学生：約90名(主に3回生、修士1回生)

・内容：昨年度のインターンシップ参加学生から体験談を具体的に話していただきました。またその後講演者の方に残っていただき情報交換の場を設けました。



4/17 講演会

6/5 インターンシップ

教員の異動

就任

- ◆中部主敬教授：S56年京大・工・機械卒、S58同大学院工学研究科修士課程修了、同年阪大・工学部助手、H3工学博士、H6本学機械工学専攻伝熱工学分野助教授、H14大阪府立大学工学研究科教授、H18. 4. 1本学機械理工学専攻熱材料力学分野教授。この間、H3～H5米国商務省標準局(NIST)にて客員研究員ならびにH8スタンフォード大にて文部省在外研究員として研究に従事。H11およびH12工技院にて通商産業技官併任。専門は伝熱工学、燃焼工学、熱流体計測など。
- ◆茨木創一助教授：H6京大・工・精密卒、H8同大学院工学研究科修士課程修了、H9カリフォルニア大学バークレイ校大学院機械工学科入学、H12Ph. D.、H13本学・工・精密工学専攻精密計測加工論分野助手。H17改組によりマイクロエンジニアリング専攻精密計測加工学分野助手。工作機械の制御、精度計測、機械加工の知能化、CAD/CAMなどの研究に従事。
- ◆黒瀬良一助教授：H5九大・工・化機卒、H7同大学院・工・化機・修士課程修了、H10同博士後期課程修了(博士(工学))、同年(財)電力中央研究所研究員、H11同主任研究員、H18. 4. 1本学機械理工学専攻環境熱流体工学分野助教授。この間、H16～17Center for Turbulence Research, Stanford Univ./NASA Amesにて研究。専門は流体工学。乱流輸送現象をベースにした混相流、反応流、燃焼流など、環境やエネルギーの問題に関わる研究に従事。



- ◆中西弘明講師：H4京大・工・航空卒、H6京大・工・航空修士課程修了、同年4月NEC衛星通信事業部、H8京大・工・航空宇宙助手、H14博士(工学)、H18本学・工・機械理工学機械システム創成学講座講師。学習・適応機構を利用する制御系設計法、自律型無人ヘリコプタとその安全防災活動への応用に関する研究、レスキューロボットに関する研究に従事。
- ◆異和也助手：H9年京大・工・機械卒、H15京大・工・機械博士後期課程卒、同年大阪府大エネルギー機械工学科助手、H18. 4. 1本学機械理工学専攻熱材料力学分野助手。この間、H15年に科学技術振興機構の研究員と大阪府立大学客員研究員。現在、伝熱・燃焼の能動制御技術の開発、マイクロ流路内熱流動特性の計測技術の開発と現象解明および、マイクロポンプや小型エネルギー機器の開発の研究に従事。
- ◆松本龍介助手：H11阪大・工・機械工学卒、H12阪大・工・知能機能創成工学博士前期課程修了、H15同大学院博士後期課程修了(博士(工学))。H15. 4. 1阪大・工・知能機能創成工学助手、H15. 6. 1九工大・情報工・機械情報工学科助手、H17. 4. 1同大学講師(学内)、H18. 4. 1本学・工・機械理工学専攻固体力学分野助手。金属材料の変形・破壊挙動の原子モデルを用いた解析、モデル化に関する研究。



異動

- ◆中村康一講師：本年10月1日、立命館大に異動。

会員のページ

第23回花房研究室同窓会開催のお知らせ

第23回(2006年度)花房研究室同窓会を下記にて開催いたします。また伴わせて第17回ハイテクノロジー懇話会も同時開催いたしますので、同窓生の皆様多数の御参加をお願いいたします。

なお、今年は例年より早く10月開催となっておりますのでご注意ください。

日 時：平成18年10月28日(土)
ハイテクノロジー懇話会 16:00～
花房研究室同窓会 17:00～
会 場：京都センチュリーホテル(京都駅前)
3F 弥生および醍醐
担 当：杉江 俊治



第22回同窓会(平成17年11月26日(土)開催)記念写真

池内先生退職記念事業報告

池内健先生のご退職にあたり、4月30日、百周年時計台記念館国際交流ホールにおいて退職記念講演と祝賀会を開催しました。当日は池内先生の研究の幅広さを物語るようにさまざまな分野から70名余りの関係者に出席していただき、まず、最終講義としてこれまでの研究成果のご紹介をしていただき、その後、祝賀会が行われました。祝賀会では、参加したOB一人一人から先生への祝辞および学生時代のお詫びや感謝の言葉があり、池内先生の奥様も交えて、和やかな雰囲気にて盛大な祝賀会となりました。(高嶋記)

(池内先生の現所属：鈴鹿医療科学大学医用工学部)



京機24年会平成18年度同窓会報告

日 時：平成18年6月14日

会 場：ホテルグランヴィア京都

梅雨期の最中、12名が京都に参集し、互いに久かつを謝し、再会を祝した後、グループに別れたり、一緒になって最近の諸問題を論じ、談論風発、時に笑い、また憤慨して楽しい時間を過ごしました。話題の多くは最近発生した国内外の諸問題に集約されるが、やはり健康についての話題が多く、各自の闘病の経過や現状、老化の防止対策等が真剣に話し合われた。偶然にもこの日、妙心寺(右京区)の“沙羅双樹”の開花が告げられたが、この花の“脆さ”に負けることなく、次回の会合を採択して散会した。(岩本記)



五十年会(S25卒)2006年春季例会報告

日 時：平成18年5月6日(月)

会 場：(社)大阪倶楽部 出席者：12名

幹事の木本正丈君より白谷清二君が去る4月27日逝去したとの報告を受け、一同で冥福を祈って黙祷を捧げ、又、野木圭三君より河本實先生のご逝去(4月18日)と偲ぶ会の予定が報告され、次いで木本君から音信のない方々の近況報告を受けました。

今回の卓話は、台湾生まれで台湾育ちの木本正丈君の「麗しの台湾」と題する大変興味深いお話を事前に準備された沢山の資料を用いて話され、一同の多くの示唆と感銘を与えられました。

次いで、出席者全員より近況報告を、そして次回は平成18年10月23日(月)大阪倶楽部にて秋季例会を開催することを決め、散会しました。(合田英之記)



洛友会(昭和29年卒)同窓会報告

日 時：平成18年5月22日(月)、23日(火)

参加者：19名

一昨年宇治での開催に引き続き、嵐山のホテル嵐亭で卒業後52年目の総会を開き関東地区からの参加者も含めて夜遅くまで仕事の思い出や各自の趣味の話など談論を楽しみました。総会の間には東京と大阪でそれぞれの地区会を開いています。

22日は好天で嵯峨野の散策を楽しまれた方もあり、保津川に面して美しい庭園のあるホテルでの会合は快いものでした。

23日は有志で桂キャンパスの見学を予定していましたが天候に恵まれず取りやめとなり次回の再会を期して別れました。(中井記)



河本實先生を偲ぶ会

名誉教授 河本實先生は、平成18年4月18日、ご家族の手厚い介護のもと、93歳の天寿を全うされました。

葬儀は密葬にて相済まされましたが、門下生の集まりである機河会が、8月26日(土)、ウエスティン都ホテル京都で、先生をお偲ぶする会を開きました。ここは先生の還暦、古希と叙勲のお祝いをした思い出の所があります。令夫人 律様、ご長男 崇様ご夫婦に、門下生など53人が集まりました。壇上には時代の違う3枚の遺影と、勲2等瑞宝章の勲記、正四位の叙位記が安置されています。赤松利章氏(S32)の司会で、西岡邦夫氏(S23)の追悼の辞に続いて献花を行い、ご長男 崇様より謝辞とともに病状の経過を伺いました。中井肇氏(S22)の献杯の言葉で会食を始め、広い年代の方々から先生の面影を偲ぶスピーチを戴きました。京都帝国大学を総代で答辞を述べて卒業し、西原利夫先生が創められた材料強度研究の、メッカとまでいわれた研究グループの中心であった、河本先生の御姿がはっきりと浮かび上がりました。さらに毎年8月、先生の誕生日に近い土曜日の機河会で、ご長男 崇様の介護の様子を目の当たりに見てきた多くの参会者も、改めて印象深く思い出を刻み込みました。最後に、田中道七氏(S30)の閉会の辞で会を終わりました。(小浜弘幸(S32)記)



第19回機河会(河本研究室同窓会)案内

日 時：平成19年8月25日(土) 12:30～

会 場：京大会館

幹 事：岸本秀弘(S33) Tel & Fax 0565-32-4401
〒471-0031 豊田市朝日町5-15-44

備 考：この会合で機河会の今後のことをご相談したく存じます。